

## 低温火災・発火について - 西日本防災システム

低温火災 低温発火 低温着火 など お聞きになったことはありますか。

通常火災は炎が出ますので 高温ですよー。低い温度での火災？

頻繁ではないですが稀に火災事例が見られますので  
ちょっとご注意下さい。 仕組みを知ること簡単な予防もできます。

### 低温着火・火災とは

木材に長時間熱を与えますと乾燥してゆきます。同時に内部には小さな孔がたくさんできます。

さらに熱が与えられ続けると(炎による急激な加熱ではなく **じんわりと...**)

その多数の孔に酸化熱が蓄積され 炭化状態になってゆきます。こうなりますと普通400℃から500℃である木材着火温度は低くなり100℃でも着火することがあります。  
これが低温発火なんですね！

高温に接する状態はたとえば ① 暖房機の排気筒が壁を貫通する部分 ② 給湯器の排気筒が壁を貫通する部分 ③ 貫通部分以外に常時熱くなるガスコンロが接している部分 下図A参照  
④ 白熱球の熱によるもの 等があります。

つまり 私達の日常生活の中には限りなく 低温発火に至る状況を作り出す条件が存在することになります。 これは**要注意** ですねー

### 対策は？

- ① まず低温発火が発生する仕組みをザックリと理解しましょう！
- ② ご家庭で熱源と接している部分を見つけて 断熱補強や距離を確保するなどを行いましょう。
- ③ 心配な部分があれば専門業者に点検させてください。



参考A

コンロ後部の壁内部の様子

インターネットより転載



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

